

茨城県立古河第二高等学校 教科シラバス

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	社会福祉基礎	2 単位 （70 時間）	福祉科・1 年
教科書（発行所）	社会福祉基礎（実教出版）		
教科書以外の教材（発行所）	人間の理解（中央法規）		
目 標	○日常生活と福祉の関わりを理解し、尊厳の保持や自立支援をふまえた職業人としての倫理観を身に付ける。 ○対人援助の技術や多様な社会的支援について理解し、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決する力を身に付ける。		
評価方法	☐授業への参加姿勢、授業ファイルの記載充実度。課題・宿題等の提出状況と内容充実度。 ☐定期考査における得点。		

月	学習内容	ねらい	学習活動
4	オリエンテーション	・使用教材と授業概要を知る。	☐ ファイル作成
5	第1編 社会福祉の理念と意義 第1章 生活と福祉 (1)少子高齢化と人口減少に向かう日本 (2)産業と地域社会の変化 (3)家族と働き方の変化 (4)疾病構造の変化	・進行する少子高齢化と人口減少の中での社会福祉が担う役割を理解する。	☐ 講義 ☐ DVD視聴 ☐ グループワーク
6	(5)人の一生と社会福祉	・時代の変化に伴うライフコースの多様化について理解し、個人の人生における社会福祉政策との関わりを考察する。	
7	～夏期休業～		
8			
9	第2章 社会福祉の理念 (1)現代の福祉理念 (2)日本国憲法と社会福祉 (3)地域生活と社会福祉	・日本国憲法と基本的人権との関わりについて理解し、今後の福祉社会のあり方を考察する。	☐ 講義
10		・基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の共生社会のあり方を考察する。	
		・生活を支えるしくみを理解し、今後の地域共生社会のあり方を考察する。	
11	第3章 人間の尊厳と新たな福祉社会の創造 (1)人間としての尊厳	・人間に内在する「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察する。	☐ 講義

12	(2)自立生活支援 (3)新たな福祉社会の構築に向けて	・現代の社会福祉が自立生活支援を目指していることを理解し、社会の変化やニーズに応じて今後の自立生活支援のあり方を考察する。	
1	第4編 人間関係とコミュニケーション 第1章 コミュニケーションの基礎 (1)コミュニケーションの意義と役割 (2)コミュニケーションの手段と方法	・対人支援として必要な要素を理解し、信頼関係を構築するためのコミュニケーション技術について考察する。	□講義 □演習 □グループワーク
2	第2章 支援における人間関係の形成 (1)傾聴・受容・共感の姿勢 (2)利用者理解と支援者の自己理解	・当事者や利用者との信頼関係の構築に必要な要素を理解し、傾聴、受容、共感の姿勢の意義について考察する。	
3	第3章 社会福祉における支援活動の概要 (1)個人に対する支援活動とその方法 (2)グループや家族に対する支援活動とその方法 (3)地域を基盤としたソーシャルワーク (4)ルームワークとリーダーシップ (5)福祉・介護人材の養成とキャリア形成	・グループワークの留意点や展開過程を理解し、社会福祉施設や地域におけるグループについて学ぶ。 ・福祉専門職の専門性について理解し、ケースワークに必要な原則や展開過程を学ぶ。	
授業の受け方・留意点		●授業内容や指示の聞き逃しを避けるため、欠席しないように努めましょう。 ●毎時の内容を理解するとともにワークシートは必ず完成させましょう。 ●ワークシートを用いて復習し、理解の促進と知識の定着を図りましょう。 ●考査前には十分に時間を使って復習しましょう。 ●課題や宿題、ファイルなどは指示された期日を守って提出しましょう。	

教科名	科目名	単位数（時間数）	学科・学年
福祉	社会福祉基礎	2単位（70時間）	福祉科・2年
教科書（発行所）	社会福祉基礎（実教出版）		
教科書以外の教材（発行所）	社会の理解（中央法規）		
目 標	○社会福祉の理念と意義を理解し、社会構造やライフスタイルの変化をふまえた新しい福祉社会を实践する態度を育成する。 ○社会福祉の歴史を理解し、現代社会における社会福祉の意義や役割を考える力を身に付ける。		
評価方法	☐ 授業への参加姿勢、授業ファイルの記載充実度。課題・宿題等の提出状況と内容充実度。 ☐ 定期考査における得点。		

月	学習内容	ねらい	学習活動
4	オリエンテーション	・使用教材と授業概要を知る。	☐ ファイル作成
	第2編 社会福祉の歴史と次代の展望		☐ 講義
5	第1章 諸外国における社会福祉	・産業化に伴う社会問題の発生や社会責任論への転換を学ぶ。	
	第2章 日本における社会福祉	・各国によって社会福祉の状況は異なることをふまえて、共通する少子高齢化や貧困の問題などを理解し、諸外国と日本との違いを考察する。	☐ 講義
6			
7	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	・社会保障制度の目的や意義、機能や範囲などの基本的な考え方を学ぶ。	☐ 講義
	第1章 社会保障制度の意義と役割	・社会保障制度や公的扶助制度など各制度について学ぶ。	
	～夏期休業～		
8			
9	第2章 子ども家庭福祉	・子どもたちを取り巻く環境について理解するとともに、支援のあり方や対応策、役割などを学ぶ。	☐ 講義 ☐ グループワーク
	第3章 障害者福祉	・障害者福祉を支える法制度や障害者の現状と課題を理解し、その支援方法について学ぶ。	☐ 講義
10			
	第4章 高齢者福祉と介護保険制度	・介護保険の目的や制度の概要、介護保険制度が抱える課題について学ぶ。	☐ 講義 ☐ DVD視聴
11			
	第5章 生活支援のための公的扶助	・生活保護制度の目的と役割、基本原理、基本原則を理解するとともに、その意義を考察する。	☐ 講義
12			
	第6章 国民の生活を支える社会保障制度	・我が国の社会保障制度の役割や特徴、その仕組みを理解し、身近な保	☐ 講義

1	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第1章 多様な社会的支援制度	険制度からその課題について考察する。 ・医療提供施設の分類やその従事者について、特別支援教育変遷や現状、今後のあり方、地域生活に向けた司法と福祉の連携のあり方について学ぶ。	☐ 講義
2		・認知症高齢者や知的障害者の権利擁護として日常生活自立支援事業や成年後見制度の仕組みを理解し、今後の支援のあり方を考察する。	
3	第2章 地域福祉の進展と地域の将来	・ボランティアの定義、バリアフリーを目指した住民参加型な街づくりの価値、地域共生社会の実現のために必要な支援を理解し、誰もが住みやすいまちづくり、今後の社会に必要な福祉専門職の役割について考察する。	☐ 講義 ☐ グループワーク
担当者からのアドバイス		●授業内容や指示の聞き逃しを避けるため、欠席しないように努めましょう。 ●毎時の内容を理解するとともにワークシートを完成させましょう。 ●ワークシートを用いて復習し、理解の促進と知識の定着を図りましょう。 ●考査前には十分に時間を使って復習しましょう。 ●課題や宿題、ファイルなどは指示された期日を守って提出しましょう。	